厚生労働省トピックス②　（人材開発統括官）

令和7年度予算案における重点事項（ポイント）

（注）金額は令和7年度予算案、（　）内は令和6年度当初予算額

リ・スキリングによる能力向上支援　1、139億円（1、238億円）

○ 労働者のキャリア形成やリ・スキリングの取組を促すための相談支援事業等の拡充
41億円（38億円）

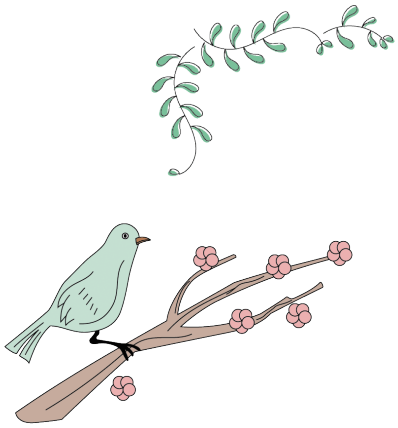
○ 中長期的なキャリア形成を支援するためのキャリアコンサルタント向け研修の実施
80百万円（81百万円）

○ スキルの階層化、標準化に向けた幅広い業種における団体等検定制度の活用促進
69百万円（19百万円）

○ 公的職業訓練のデジタル推進人材の育成支援
537億円（540億円）

○ 生成AIを含むデジタル人材育成のための「実践の場」を開拓するモデル事業の推進
14億円（15億円）

○ 事業主等が雇用する労働者に対して職業訓練等を実施した場合の賃金助成の拡充による企業における人材育成の推進
545億円（645億円）



非正規雇用労働者への支援　288億円（286億円）

○ 非正規雇用労働者等が働きながら学びやすい職業訓練試行事業の実施
3・1億円（3・1億円）

○ フリーター等に対する就職支援
24億円（24億円）

○ ステップアップを目指す非正規雇用労働者等に対する求職者支援制度による支援
261億円（259億円）

多様な人材の活躍促進　231億円（220億円）

○ 就職氷河期世代を含む中高年層へ向けた就労支援
5・6億円（5・1億円）

○ 地域若者サポートステーションにおける就労支援体制の強化
47億円（46億円）

○ 育成就労制度の施行に向けた必要な体制整備
77億円（66億円）

○ 新卒応援ハローワーク等における多様な課題を抱える新規学卒者等への支援
85億円（87億円）

○ 障害者の多様なニーズに対応した委託訓練の実施
16億円（16億円）

技能者人材の育成・技能振興の支援　51億円（48億円）

○ 技能検定等の実施
26億円（24億円）

○ 若年技能者人材育成支援等事業・各種表彰
24億円（23億円）